

R07 年度 測量士試験 問題 午前 No19 (写真測量)

<R07-No19 : 写真測量 : 問題>

次の1～5の文は、公共測量における UAV を用いた測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の1～5の中から選べ。

1. UAV 写真測量において、高低差が大きい地域を撮影する場合、撮影基準面は数コース単位に設定することができる。
2. UAV 写真点群測量では、撮影した数値写真を用いて、三次元形状復元計算により三次元点群データを作成する。
3. UAV 写真点群測量において、水平位置及び標高の基準となる標定点を検証点としても利用し、三次元点群データの位置精度の評価を行う。
4. UAV レーザ測量において、画像による地物確認に用いるため、レーザ計測と同時期に数値写真を撮影する。
5. UAV レーザ測量では、オリジナルデータの点検測量を、検証点の設置による点検や横断測量による点検などの方法で行うことができる。